

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公開番号】特開2008-126418(P2008-126418A)

【公開日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2006-310228(P2006-310228)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

B 4 1 J 11/42 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

B 4 1 J 11/42 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月9日(2009.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上流側ノズル群と、  
前記上流側ノズル群よりも搬送方向の下流側に位置する下流側ノズル群と、  
媒体を前記上流側ノズル群と前記下流側ノズル群に対して前記搬送方向に搬送する搬送機構と、  
を備え、

前記上流側ノズル群と前記下流側ノズル群は、それぞれ複数のノズル列が前記搬送方向に並んで構成され、

前記ノズル列は、液体を吐出する複数のノズルが前記搬送方向と交差する方向に並んで構成される、

液体吐出装置であって、

前記媒体の前記搬送方向の長さによって、搬送速度が異なる、  
ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の液体吐出装置であって、

第 1 サイズの媒体の搬送方向の長さが第 2 サイズの媒体の搬送方向の長さよりも長い場合、

前記第 1 サイズの媒体の搬送速度は、前記第 2 サイズの媒体の搬送速度よりも遅い、  
液体吐出装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の液体吐出装置であって、

前記第 1 サイズの媒体が、前記上流側ノズル群と前記下流側ノズル群の両方と対向している場合、

前記上流側ノズル群と前記下流側ノズル群から交互に液体が吐出される、

液体吐出装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の液体吐出装置であって、

前記上流側ノズル群の前記ノズル列と前記下流側ノズル群の前記ノズル列との間隔は、画素の前記搬送方向の長さの整数倍に、前記長さの半分の長さを加えた長さと等しい、液体吐出装置。

【請求項 5】

請求項 2 からは請求項 4 のいずれかに記載の液体吐出装置であって、

前記上流側ノズル群のうちの最上流側の前記ノズル列と前記下流側ノズル群のうちの最上流側の前記ノズル列との間隔は、前記第 2 サイズの媒体の前記搬送方向の長さよりも大きく、

前記上流側ノズル群のうちの最下流側の前記ノズル列と前記下流側ノズル群のうちの最上流側の前記ノズル列との間隔は、前記第 2 サイズの媒体の前記搬送方向の長さ以下である、

液体吐出装置。